

### 村の世帯・人口

昭和50年9月末日現在

総世帯数 2,944戸

人 口 12,842人

男 6,523人

女 6,319人

### 9月の人口移動

出生 29 死亡 4

転入132 転出 66

婚姻 6 離婚 1



# はらにしに報広



すでに完成し、村民から喜ばれている坂田保育所

総工費は81,245,415円で、建築費46,096,000円 用地費31,903,000円 備品費3,446,415円  
財源内訳は国庫補助金28,231,000円 県補助金4,696,000円 起債37,100,000円 起債のうち国民年金 特別融資が11,800,000円

発行所

西原村役場

電話 (098995) 5011

5013・5012

印刷

桑江印刷所

電話 (098995) 2365

## 一、村政情報

一、昭和五十年第六回  
議会定例会開かれる…1

一、新しい農業委員  
決まる…2

## 二、村民の広場

一、農産者の生活保障  
のため今期砂糖キビ  
をトン当り二万一千  
円以上に…2

一、西原、坂田、両村  
立保育所親子で楽し  
く夕涼み会…4

一、飛躍をめざし  
村畜牛共進会にぎわう5

## 三、告知板

# 昭和五十年

## 第六回議会定例会開かれる

去る九月二十五日から九月三十日までの五日間、昭和五十年第六回議会定例会が開かれました。

今議会に提出された案件は、議案十、決議三、陳情三、の計十六件。それぞれの案件の審議状況は次の通りです。

一、工事請負契約の一部変更について  
原案可決

二、与那原町、西原村清掃施設組合規約の一部変更について  
原案可決

三、昭和四十九年度西原村国民健康保険特別会計歳入歳出決算について  
認定

四、昭和四十九年度西原村水道事業会計歳入歳出決算について  
認定

五、昭和四十九年度西原村一般会計歳入歳出決算について  
認定

六、西原村国民健康保険条例の一部改正について  
原案可決

七、西原村国民健康保険条例の一部改正について  
原案可決

八、昭和五十年西原村国民健康保険特別会計予算について  
原案可決

九、昭和五十年西原村一般会計補正予算について  
原案可決

十、農業委員推選について  
与儀栄、新垣盛光、宇久田朝秀、新垣善雄、城間英一

十一、中部製糖第二工場の閉鎖に反対し、従業員の解雇撤回を要求する決議について  
決議

十二、昭和五十・五一年産さとうきび価格に関する要請決議について  
決議

十三、六価クロム等、猛毒、有機物使用、投棄による従業員の特別健康診断の早期実施に関する要請について  
決議

十四、ゴミ収集無料化の早期実現に関する陳情  
採択

十五、西原村字小那覇、兼久、我謝、与那城地区排水の整備に関する請願  
不採択

十六、新部落地域の浸水防止対策に関する陳情  
不採択



第 6 回 議 会 定 例 会 よ り

# 新しい農業委員決まる

村選挙管理委員会（糸数雄介委員長）で村農業委員会の任期切れに伴ない、去る九月二十一日に選挙を実施し、十六名の立候補者が無投票で当選確定しました。

議会推選の四名の委員、農業者団体代表、一名選任と合わせ、去る十月一日、交付、認証式が行なわれ、向こう二カ年間、村農業委員として頑張っていたことになりました。

新しい委員の皆さんを別表の通り村民の皆さまに御紹介致します。（敬称を略します）

## 新しい農業委員氏名

| 氏名     | 住所       | 職業   | 選数 | 備考     |
|--------|----------|------|----|--------|
| 与儀 栄   | 津花波 35   | 農業   | 2  | 議会選出   |
| 小波津 祐光 | 小波津 390  | 〃    | 初  |        |
| 新垣 盛光  | 我謝 671   | 会社員  | 初  | 議会選出   |
| 比嘉 昭幸  | 棚原 174-2 | 〃    | 2  |        |
| 屋良 朝英  | 上原 193-3 | 農業   | 2  | 農業団体代表 |
| 城間 光雄  | 我謝 128   | 農協長  | 2  |        |
| 玉那覇 吉郎 | 我謝 200   | 会社員  | 初  |        |
| 当間 嗣貞  | 与那城 320  | 〃    | 初  |        |
| 宇久田 朝秀 | 池田 69    | 農業   | 2  | 議会選出   |
| 島袋 宗盛  | 池田 435   | 〃    | 2  |        |
| 伊集 盛光  | 我謝 241   | 〃    | 初  |        |
| 泉川 寛信  | 兼久 85-2  | 運輸業  | 2  |        |
| 与儀 清志  | 津花波 34   | 農業   | 2  |        |
| 呉屋 忠康  | 我謝 704   | 会社員  | 2  |        |
| 外間 光栄  | 幸地 208   | 農業   | 2  |        |
| 西原 善栄  | 翁長 451   | 〃    | 初  |        |
| 新垣 善雄  | 我謝 810   | 会社員  | 初  | 議会選出   |
| 呉屋 安信  | 小波津 33   | 軍雇用員 | 初  |        |
| 小橋川 賢一 | 与那城 78   | 農業   | 初  |        |
| 新田 宗善  | 与那城 315  | 〃    | 2  |        |

## 村民の広場

### 農産者の生活保障のため

### 今期砂糖キビをトン当り

### 二万一千円以上に！

去る九月二五日、午後六時から、

村役場ホールで、約二〇〇人余のさとうきび生産者、関係労働者の結集のもと、昭和五十年度産、西原村さとうきび要求価格貫徹農民大会が開かれた。

この大会は、キビ作農家の生活保障と、沖縄の基幹作物であるさとうきび産業を守るために生産者の意志を結集し、対政府要求の案をまとめ

るために開かれた。

主催は村農業協同組合、村農業委員会、村役場、村議会の四者。

開会宣言の後、宮平吉太郎（村長）大会委員長、今期さとうキビ価格の引き上げについて斗いを強化しない限り困難な社会状況である。とのあいさつを受け、城間農協長の経過報告がなされた。その後、生産者代表、支援労働組合代表等、六名の決

意表明がなされ、食える砂糖キビ価格、二万一千円以上を勝ち取るまで斗い抜く意志が確認された。

砂糖キビの価格引き上げが困難な状況の中にあつて、その上、中部製糖株式会社の第二工場の閉鎖問題も会社側の一方的な通告で提起され、沖縄の糧業に暗い影を投げかけたが、こう。本村は、いわば混乱状態にあり、それだけに生産者の困惑と怒

りは大きい。いちはやく事態の重要性を知った宮平村長も第二工場の閉鎖の反対とそれに伴う六〇人の労働者の首切り反対を行なった。又ちょうど農民大会の日に開会中の村議会においても全会一致で、第二工場閉鎖、六〇人の労働者の解雇に反対する決議が採択された。そうした村の状況もあつて意見発表に立った弁士の口からは、食える砂糖キビにするために二万一千円以上を勝ち取ろうと合せて工場閉鎖の労働者の首切りの一方的な会社側のやり方に強く抗議する内容が何度となく聞かれた。

議長団選出の後、五つの決議及び四つのスローガン、そして宣言等が満場一致で採択された。

これで、十一月の砂糖キビ価格についての政府決定に向けて村生産者を中心に労働者はもとより、多くの村民の協力で、キビ価格二万一千円以上を勝ち取るまで斗い抜くスタートがきられた。

スローガンは

一、糖安法第二十一条を生産費及び所得補償方式に改めよ。

一、さとうきび最低生産者価格を二万一千円以上にせよ。

一、砂糖の海外依存体制を改め、国内自給率向上を図れ。

一、生産基盤整備実施に伴う休耕補償を実施せよ。

以上四つで主な決議と宣言は次の通りです。

●さとうきび最低生産者価格に関する要請決議

物価騰勢は、ようやく鎮静化の傾向を示しているとはいえ、なお年間を通じた生産資材価格と生産費の値上りは大幅なものがある。しかるにさとうきび生産者価格は低迷し、生産農家の農業経営と生活は、きわめて苦しい状況にある。

よって昭和五十年産さとうきび最低生産者価格は、所得補償による再生産の確保をはかり、さとうきび生産農家が安心してさとうきび生産に従事できるよう下記の通り決定することを強く要請する。

昭和五十年産さとうきび最低生産者価格は一トン当り二万一千円以上とすること。

●中部製糖第二工場閉鎖に伴う糖業危機の打開に関する要請決議  
最近中小企業の相次ぐ倒産の中で去る九月八日、沖縄の基幹産業であ



がんばろう！ と斗いの決意も新たに……



力強いデモでキビ作農家の窮状を訴える

る本村の中部製糖では第二工場の閉鎖と。それに伴う六〇人の人員整理という事態が発生し、しかもその最大の原因が最近におけるキビ原料の大巾落ち込みによる極度な経営難にあるといわれているだけに、県内糖業の衰退の前兆として、その前途を憂慮するものである。

沖繩の基幹作物であるキビ作は、復帰前後から諸々の要因をばらんで不振の一途をたどっており、とりわけ原料価格の低迷によるキビ作農家の生産意欲の減退が土地買い占めや他用途への転用を容易ならしめ、農地の減少という県内農業の危機的状況を醸し出し、その影響が今回の中部製糖の経営規模の縮小という事態を招集したものと思慮する。

中部製糖は、かかる状況の中で今

## 西原、坂田両村立保育所

### 親子で楽しく夕涼み会

夏は大人にとっても暑苦しい毎日で過しにくい日々の連続。

盆踊りや、月見会と称する一時もそのネライの一つには涼しさを求めるところにあるようです。

暑くてすごしにくいことは大人も子供も変わりありません。

そこで大人の気持ちも、子供たちの気持ちも一つになってと村立、坂田西原両保育所では、それぞれ夕涼み会を計画、父兄の協力を得てにぎやかに行なわれました。

西原保育所が八月三〇日、坂田保育所が十月十三日

両保育所の夕涼会とも、父兄の協力で、立派なヤグラが組まれ園児たちの顔もとくいそう。

おとうさん、おかあさん、にいさん、ねえさんの付き添でかわいらしい湯方姿の園児たち。

先生からもらった楽しい踊りもみんな前では踊りにくいかボツッリ忘れましたとすましたもの。

後の企業存続の措置として、第二工場閉鎖と六〇人の人員整理という形で、そこに生活の糧を得ている従業員にそのすべてを被いかぶせるというあり方は、失業率五パーセントという沖繩にとって、かつてない雇用機会の厳しい状況の中では、社会不安に一層の拍車をかける結果になり適切な措置とは言い難い。

よって県においては、沖繩の基幹作物であるキビ作の生産拡大を図りその抜本的な対策を講ずるとともに企業に対しては、現在の工場規模の維持を図るための指導、対策を講ずるよう強く要請する。

#### ●宣言

本日我々は、ここにさとうきび生産農家の総意を結集してさとうきび要求価格貫徹農民大会を開催し、さ

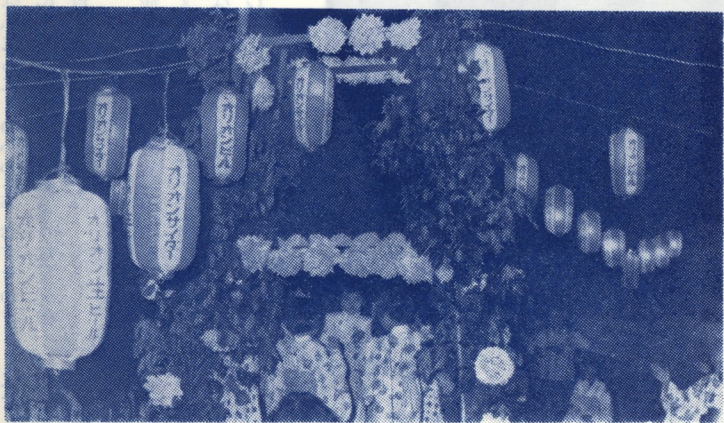
とうきび最低生産者価格トン当り、二万一千円以上の実現をはじめとする諸要求を決議した。

国際的食糧需給の逼迫を契機として、国民食糧の安定供給の確保が国民的課題となり、農業見直しの気運が高まってきたが、政府はいまこそこれまでの農業軽視政策を改め、国民の食糧自給向上を基本に据え、農家が安心して生産に励める施策を講ずべきである。

我々は、ここに一糸乱れぬ体制のもとに県下さとうきび生産農家の総意にもとづく強力な運動手段をととのえ、要求実現に向って邁進せんとするものである。

以上宣言する。

父兄とそろっての踊りも楽しんでるのは父ちゃん、母ちゃんたち。



にしはら保育所の夕涼み会より

子供たちは思い思いのことをして楽しんでいるところがかわいい。  
園児たちが一番、気に入ったのはどうやら、どこでも花火の一時。  
あちこちでシュツシュツ、パチパチにぎやかな花火大会。

花火大会の幕開けは先生方の大いなる演出で盛大な打ち上げ花火から  
園児たちは、いちだんとかわいい先生のやることにはたしてどうなることやら気がでない様子。火がつきにくいとモタモタ。ついたと思つて耳に手をあてかまえたらし消え行く火。消えていると思つて近づいたらついている、ワイと逃げかえるそうこうしているうちにパーンと見事な花火が夜空を照らす、ほころぶ園児たちの顔。

その一瞬、火花に興じている人間の顔はみんな無じやきでかわいい、大人も子供も…。

おしまいは、園児たちを楽しませるために努力に努力を重ねた先生方のその結果、おいしいアメ玉の配布となった。「これで今日は実に楽しかったわ」と参加した園児の誰れもが感じていることが、この時ばかり

は私たちに伝わった。おすそわけにあずかったさも満足そうな父兄の皆さんもいたようです。

終りはお行儀よくあいさつをして帰える園児たちの前途が頼もしい。父兄と暗い夜道を行く小さな足々がなぜかわいく、たくましく見えまたした。



坂田保育所の夕涼み会より

## 飛躍をめざし

### 村畜牛共進会にぎわう

去る十月九日中部製糖第一工場内で昭和五〇年度畜牛共進会が開かれました。

当初、四目に予定された共進会でしたが、雨で順延され九日の実施となったもの。昨年より多い三十九頭の見事な牛が出品され着実な発展の

後がうかがえました。

会場には、村内の畜産農家の関係者をはじめ、村外からも参観にかけつけ「モオー、モオー」と優勝したつもりで鳴き叫ぶ牛々を熱心に見比べていました。

審査を依頼された先生方も、例年

になく水準が高く、いい牛がそろったと、甲乙をつけるのに一苦労の場合の連続だった。

午前十一時から開始された審査は午後二時ごろまでかかり、その結果各部門、次の通り入賞者が決定されました。入賞した牛の飼い主を次に紹介しますが敬称を略させていただきます。

#### ■肥育牛 成雌の部

- 優等 宇久田朝秀 (宇池田)
- 一等 喜屋武善吉 (宇池田)
- 二等 与那嶺栄幸 (宇幸地)

#### ■肥育牛 去勢牛の部

- 優等 翁長 俊雄 (宇幸地)
- 一等 与那嶺正昌 (宇幸地)
- 二等 泉川 寛仁 (宇上原)
- 二等 泉川 千代 (宇上原)

#### ■肥育牛 育成牛の部

- 優等 宮城 正勇 (小橋川)
- 一等 宮城 良市 (小橋川)
- 一等 与那嶺正貞 (宇幸地)
- 二等 銘苅 正義 (津花波)
- 二等 与那嶺栄吉 (宇幸地)

#### ■繁殖牛、和牛 経産牛の部

- 優等 喜屋武正光 (宇池田)
- 一等 喜屋武栄光 (宇池田)
- 二等 与那嶺栄幸 (宇幸地)
- 二等 喜屋武善吉 (宇池田)

#### ■繁殖牛、和牛 未經産牛の部

- 優等 喜屋武栄一 (宇池田)
- 一等 宮城 正勇 (宇小橋川)
- 二等 泉川 寛仁 (宇上原)
- 二等 喜屋武善吉 (宇池田)

#### ■繁殖牛候補(子牛)の部

- 優等 与那嶺太郎 (宇幸地)
- 一等 喜屋武善吉 (宇池田)
- 一等 与那嶺キヨ (宇幸地)
- 二等 宮城 正雄 (宇小橋川)
- 二等 与那嶺正一 (宇幸地)

■乳牛 未經産の部

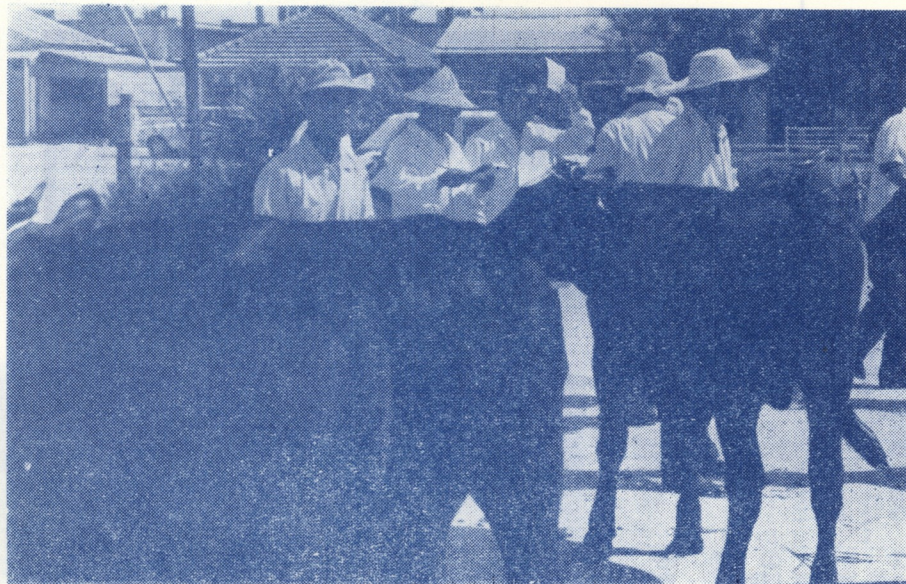
優等 与那嶺安正(字幸地)

一等 沢岬 徹(字幸地)

二等 外間 武次(字幸地)

二等 沢岬 チヨ(字幸地)

三、告知板



審査風景より

## 十一月の行事

二日 村老人クラブ第一回運動会

三日 文化の日

九日 村青連第十一回駅伝大会

西原小PTAの研究會

十五日 DPT予防接種(一回目)

受付一時〜三時半、村役

十六日 第一回婦人主張大会(村

役場ホール)

二十九日 ポリオ、受付一時〜三時

半 村役場ホール

二十九日 三〇日

村婦人会の宿泊研修

国民宿舎名護浦荘

場ホール

